

JATA16-01

2016 年元旦

## 2016 年 JATA 会長 年頭所感

### 「海外旅行復活の年に」

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)  
会長 田川 博己

あけましておめでとうございます。

昨年は、訪日外国人旅行者数が 1970 年以来 45 年ぶりに海外旅行者数を上回るという歴史的な年となりました。訪日外国人の旅行消費額は、過去最高であった一昨年の 2 兆 278 億円を大きく上回る 3 兆円台の半ばに届くかという規模まで拡大し、ツーリズム産業はいわば日本の大きな輸出産業にもなっています。

2030 年には国際交流人口が 18 億人まで増加すると推定されており、18 億人を対象に日本のツーリズム産業を考えるという視点も必要になってきています。

今年は、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開かれ、閉会式で次の開催地として TOKYO、JAPAN がコールされます。日本が世界中から注目され、ツーリズムの重要性が益々高まるとともに、2020 年以降の日本のツーリズムを考えていく重要な年でもあります。

JATA は、2016 年を「海外旅行復活の年」として、海外渡航者 2000 万人達成に向けた需要喚起、市場創造に取り組み、双方向の交流拡大、「交流大国」の実現に努めていきます。地域との連携を強化して国内旅行市場の活性化を推進するとともに、東日本大震災から 6 年目になる東北へは、人の交流を通じた復興支援活動を行っていきます。インバウンドは 2000 万人の次のステージに向けて、量の拡大だけでなく、質の向上や旅行者への「安心・安全の旅の提供」に向けて取り組んでいきます。そして、昨年発表した海外・国内・訪日旅行三位一体の「JATA 政策提言 2015」の施策を、ひとつひとつ実行していきます。

昨年、日本は国連世界観光機関 (UNWTO) の理事国入りを果たしました。JATA としても、民の立場から国際ツーリズムの中で日本のリーダーシップを発揮するため、観光を通じた文化遺産の保護育成に取り組む等、観光と文化の両立をめざす UNWTO の活動に参画していきます。

JATA 活動の象徴である「ツーリズム EXPO ジャパン」も、新たにスタートして、“ホップ” “ステップ” “ジャンプ” の 3 年目の “ジャンプ” の年を迎えます。BtoB と BtoC の両面で、ツーリズムの持つ力と可能性を知らしめる大きな舞台であり、日本のツーリズムのプレゼンスを国内外に発信していきたいと思えます。

本年も引き続きご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

お問い合わせ先

(一社) 日本旅行業協会  
永由・新田・矢嶋

広報室

TEL : 03-3592-1244